

埼玉と世界をつなぐ

Friendship News

No.141 / 2025年度 夏号

フレインドシップニュース



(写真)インドネシア・バンドン郊外、ジュアンダ森林公園の風景

Contents

- 令和6年度事業報告 …P.2 - 4
- 世界の国からこんにちは ～インドネシア編～ …P.5
- 日本語教室ボランティア研修 第1回入門講座お知らせ …P.6
- ホームステイボランティア ホストファミリーの募集
- 世界食べ物探検 ～フランス菓子編～
- グローバル人材育成センター埼玉からのお知らせ …P.7
- JICA埼玉デスクからのお知らせ 等
- 各種案内 …裏表紙



公益財団法人

埼玉県国際交流協会

Saitama International Association

令和6年度 事業報告



埼玉県国際交流協会は
どんなことをしているの？

令和6年末の埼玉県の在留外国人数は26万2,382人（全国5位）と過去最高を記録し、県民の約28人に1人が外国人という状況になっています。このような状況の中、計画の柱である「多文化共生社会の実現と県内在留外国人への総合的な支援の推進」「国際的に活躍できる人材の育成」「国際交流・国際協力の促進」の3つのミッションを最大限に果たすべく次のような事業を実施しました。

多文化共生社会の実現と県内在留外国人への総合的な支援の推進



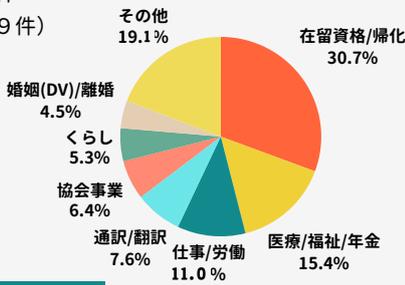
外国人総合相談センター埼玉の運営

県内在留外国人を支援する相談窓口として「外国人総合相談センター埼玉」を設置し、電話で外国語（12言語）及びやさしい日本語による生活相談、出入国制度や法律に関する相談に対応するための専門相談、外国人住民が訪れた公共機関窓口との電話による仲介通訳を行いました。

また、県内の公共機関で外国人相談に従事している相談員を対象とした研修会を実施しました。

・全相談件数：5,973件
（うち、仲介通訳：719件）

相談内容別割合



外国人のための無料法律相談

埼玉弁護士会による外国人のための無料法律相談の予約仲介及びボランティア通訳派遣を行いました。

・予約仲介件数：195件 / 通訳派遣件数：148件

また、関東弁護士会連合会・埼玉弁護士会との共催による無料法律相談会を開催しました。



外国人のための災害時支援

大規模災害発生時、外国人に対する迅速な多言語での情報提供のため「災害時多言語情報センター」を設置・運営できるよう、県国際課と合同で市町村、市町村国際交流協会を対象とした「災害時の外国人支援のための研修・訓練」を行いました。

- ・災害時の外国人支援のための研修&災害時多言語情報センター立ち上げ訓練：52人参加
- ・シミュレーション訓練：53人参加



高校進学ガイダンス

日本語を母語としない外国出身の生徒の高校進学を支援するため、「日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス」を開催しました。ガイダンスでは、高校進学に関する資料を8言語（日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語・ベトナム語・ネパール語）で作成・配布しました。

【内容】

- <全体説明>
入学試験・学費などの説明、先輩の体験談
- <個別相談>
高校ブース（公立高校13校、私立高校1校）
学費・奨学金ブース、日本語教室紹介等

278人が参加しました！



日本語教室の支援

日本語教室は、日本に暮らす外国人の方々が生活に必要な日本語を学びながら、地域住民と交流する場として大切な役割を担っています。県内における外国人住民の日本語学習環境を整えるため、以下の事業を行いました。

日本語教室ボランティア研修

- 初心者向け講座 入門編 1回
実践編 2回
 - 経験者向け講座 2回
 - 課題別講座 1回
- 計6回開催
参加者：延べ493人

日本語教室相談・立ち上げアドバイザー派遣

新しい日本語教室の立ち上げや、既存の教室のより良い運営等について相談に応じ助言を行うアドバイザーを、市・団体等に5件派遣しました。

「生活Cando」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラムの編成

地域の日本語教室のボランティアによる対応は負担が大きいとされる「日本語ゼロ初級」の外国人住民を対象とした日本語教育プログラム開発のため、有識者によるワーキンググループを9回開催し、検討を進めました。

日本語教室支援協議会の開催 計2回開催



通訳・翻訳ボランティアの登録・紹介

弁護士による法律相談や、病院、教育機関等の公的機関などからの依頼に対し、協会に登録いただいている通訳・翻訳ボランティアを紹介しました。

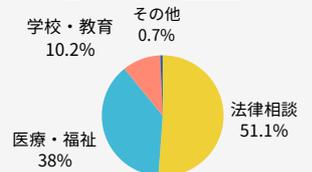
ボランティア登録者数

1,325人（35言語）

紹介件数

305件

分野別割合



中学生オンライン日本語教室

日本語力が十分でない外国にルーツを持つ中学生を対象としたオンライン日本語指導教室を計25回実施しました。指導に当たっては、生徒及び教員を対象としたオリエンテーションを実施するとともに、生徒個々の日本語レベルチェックを実施しました。

また、中学3年生を対象に、公立高校受験対策として、個人面接のための指導及び練習を行いました。

参加市町村

13市町

参加生徒

22校36人
（延べ486人）





海外留学を経験した日本人学生と外国人留学生の両者を対象に、留学前から留学後の県内企業への就職までトータルに支援する「グローバル人材育成センター埼玉（GGS）」の運営等により、世界を舞台に活躍できるグローバル人材の育成を推進しました。



日本人留学生の支援

「埼玉発世界行き」奨学金

グローバル人材を育成するために設置した「埼玉グローバル人材活躍基金」を活用し、奨学金を支給しました。

この「埼玉発世界行き」奨学金は、海外留学を志す若者が家庭の経済的理由等により海外留学を断念することがないよう、返還の必要がない給付型の奨学金です。

埼玉県からの補助金を原資とする「一般奨学金」と、寄付をいただいた企業、個人、団体等の名称等を冠した「冠奨学金」により、計136人の留学を支援しました。

- 学位取得コース 20人
 - 地域活躍コース 48人
 - 冠奨学金（新規支給）68人
- ※この他に、冠奨学金による継続支給者4人を支援しました。



奨学生壮行会・同窓会

奨学生壮行会及び留学を終えた奨学生の同窓会を開催し、124人が参加しました。帰国した奨学生からの報告や令和6年度奨学生代表者による決意表明、埼玉親善大使委嘱状授与の他、留学を終えた奨学生による講演会を行い、留学経験をその後のキャリアにどのように生かしているかお話しいただきました。

留学前研修

奨学生としての心構えを身につけてもらうとともに、奨学生間のネットワーク構築などを目的に、留学前の高校生を対象に事前研修を開催し、25人が参加しました。

留学準備セミナーの実施

留学への機運を醸成するため、留学相談・情報提供を行う留学準備セミナーを開催し、74人が参加しました。

留学促進ガイド

県内の高校生や大学生の留学意欲を高めるため、「埼玉発世界行き」帰国奨学生の体験談等を掲載した「埼玉発海外留学のすすめ」を作成し、ホームページに掲載しました。



国際理解教育

世界へのトビラ

国際理解教育を推進するため、県内の小・中学校、高等学校等の教育機関や公民館等に、外国人講師や日本人講師を派遣する「世界へのトビラ」事業を実施しました。

- 全33回、派遣講師：156人 参加者：5,414人

外国人留学生出前講座

子ども食堂や放課後児童クラブの児童と県内の外国人留学生との交流会を開催しました。

- 全16回、派遣学生：32人 参加児童：269人

日本語教室でのボランティア体験

子どもや若者が地域の外国人住民との交流を通じて、多文化共生社会を築ききっかけづくりを行うため、高校生の日本語教室体験を行いました。

- 全22回、参加した高校生：57人



外国人留学生の支援

ホームステイの実施

グローバル人材育成センター埼玉（GGS）の会員大学の外国人留学生を対象に、ホームステイボランティアとして登録のある県内家庭へのホームステイを実施し、日本文化に対する理解を深める機会を設けました。

- 参加学生：7大学104人 / 参加家庭：94家庭

学生交流イベントの開催

外国人留学生と日本人学生の相互交流を図るイベント「埼玉学のすすめ」を埼玉県留学生交流推進協議会との共催で実施しました。

- 参加学生：40人（うち外国人留学生35人）



就職支援

企業インターンシップの紹介

学生の県内企業等に対する理解を深め、将来のキャリア形成の参考に資するため、インターンシップを実施する会社等に関する情報提供をしました。

- 掲載企業・団体：14社・機関
- 実施状況：9社・機関、33人



グローバル人材向け就職説明会

就職活動中の外国人留学生等を対象に、他の機関と連携し就職説明会を実施するとともに、オンラインを活用した会社説明会を開催しました。

- 他機関と連携した就職説明会（計3回）
参加企業：計246社
参加学生：延べ844人（うち外国人留学生367人）
- オンライン会社説明会（計2回）
参加企業：計26社
参加学生：延べ219人（うち外国人留学生219人）

就職相談

就職マッチング&フォローアップシステムを運用し無料職業紹介を実施するとともに、県内大学での巡回相談等を実施しました。

- 学生登録者：589人
- 求人登録：392人
- 県内企業への内定：33社46件
- マッチング件数：100社1,669件（うち内定7社10件）
- 就職相談等：750件
- 巡回相談：計14回72人参加（5大学）



グローバル人材向け就職ガイダンス

就職活動が遅れがちな外国人留学生のために、自己分析や企業選択、就職活動に必要な情報を説明しました。計3回の開催で延べ83人の外国人留学生が参加しました。

県内企業向け外国人留学生採用支援セミナー

県内企業の外国人留学生の採用意欲向上を図るため、外国人留学生採用の先行事例紹介や専門家による採用に関する留意点の講義等を内容とするセミナーを開催しました。

- 参加企業：計46社（計2回）

県内在住の外国人との交流活動を実施するとともに、国際協力活動を促進しました。



ホームステイの実施

グローバル人材育成センター埼玉（GGS）の会員大学の外国人留学生や、（独）国際交流基金日本語国際センターの研修参加者を対象に、ホームステイボランティアとして登録のある県内家庭等を紹介し、ホームステイを実施しました。留学生や研修参加者には日本の家庭や文化について知っていただく機会として、日本人のホストファミリーには外国を身近に感じ文化に触れる機会として、国際交流を促進しました。また、ホストファミリー向けの研修会も開催しました。

ホームステイボランティアの登録数

319家庭

GGSを通じた外国人留学生との交流（再掲）

参加学生：7大学104人 / 参加家庭：94家庭

日本語国際センター研修参加者との交流

参加研修生：142人 / 参加家庭：142家庭

ホストファミリー向け研修会

主な内容：最近の留学生の傾向について、ハラルールについて
参加者：8名



国際フェア

県内NGOの活動発表や外国人等との交流を通して、国際交流・国際協力活動に対する県民の理解増進を図るため、埼玉県国際NGOの祭典「国際フェア」を実施しました。NGO等26団体が出展し、展示、販売、ワークショップ等を通じて、県内で活動するNGO等の取組や海外の現状を伝えました。

本イベントはコープみらいなどと連携し、3つのイベントの同時開催とし、会場のさいたまスーパーアリーナには約2万5,000人の方々が来場しました。



彩の国さいたま国際交流・協力ネットワークの運営

公共団体と民間団体がそれぞれの機能や特色を活かしながら情報交換や協働活動を行うため、「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」を運営し、幹事会及び全体会を開催しました。全体会では、幹事市町が事例発表をする等、事例研究の機会を設けました。

・構成団体数：219団体（令和7年3月31日時点）

・内訳：NGO等154団体、市町村63、県、県国際交流協会



彩の国さいたま国際協力基金助成事業

県内に拠点を持つNGOが行う草の根の国際協力活動を支援する助成金「彩の国さいたま国際協力基金」。令和6年度は、海外協力事業・県内協力事業合わせて7団体7事業に対し、2,700,000円の助成を行いました。

海外協力事業

5団体5事業

国内協力事業

2団体2事業

助成事業例

- ・ラオスの小規模コーヒー農家を対象としたコーヒー豆品質向上技術指導による所得向上支援事業
- ・フィリピンのミンダナオ地震被災地に住む子どもたちの健全育成支援事業
- ・地域に暮らす外国人子育て家庭への支援（国内）



主なイベント内容

- ・県内を拠点とするNGOの活動紹介
- ・世界の料理や民芸品の販売
- ・民族舞踊や音楽などのステージ発表
- ・国際理解ワークショップの開催



協会では、ここでご紹介した事業以外にも、国際交流プラザの運営、広報紙、インターネットやSNSを活用した情報発信、県内4カ所でのクイックフォトスタジオの運営（パスポート等各種証明写真の撮影に対応）等、多岐に渡る事業を行っております。詳細・最新の情報につきましては、協会公式ホームページをご覧ください。



「暮らす」目線で見る・知る海外。埼玉県にゆかりがあり、海外でご活躍されている方から、その国のことを紹介いただく本シリーズ。今回は、「埼玉発世界行き」冠奨学金「水のマエザワ」東南アジア留学奨学金の奨学生として、インドネシア・バンドン工科大学に留学された宮川 昂大さんにお話を伺いました。

多様性と寛容の国・インドネシアでの暮らし

島々が織りなす文化

インドネシアは、約3億人の人口を擁し、世界第4位の人口を誇る国です。急速な経済成長と同時に、豊かな自然と多様な文化が共存しており、訪れるたびに新たな発見があります。17,000以上の島々には約270の民族が暮らし、700以上の言語が使われていますが、共通語としてインドネシア語が整備され、広く使われています。

国民の大多数はイスラム教徒で、祈りや断食などの宗教的習慣が日常に根づいています。一方、バリ島ではヒンドゥー教が主流で、街中に供物が並ぶ神秘的な雰囲気も印象的です。首都ジャカルタは高層ビルが立ち並ぶ政治・経済の中心で、忙しさと活気にあふれた都市です。

高原都市バンドンの魅力

それに対し、私が住むバンドンは高原に位置し、涼しく落ち着いた空気が流れています。人々も穏やかで、初対面でも笑顔で話しかけてくれる温かさがあります。バンドンはジャカルタから車で約3時間、西ジャワ州の中心都市で「第3の都市」と呼ばれています。標高700~800メートルにあり、昼は25~30℃、夜は20℃前後と快適で、避暑地としても知られています。歴史をたどれば、インドネシアは約300年間オランダの植民地支配を受け、第二次世界大戦中には日本の統治下に置かれました。このような歴史的背景があるため、日本人に対して嫌悪感を持つ人もいたのではと心配でしたが、実際にはそのようなことは全くなく、むしろアニメや日本食を通じて、好意的に接してくれる人ばかりでした。

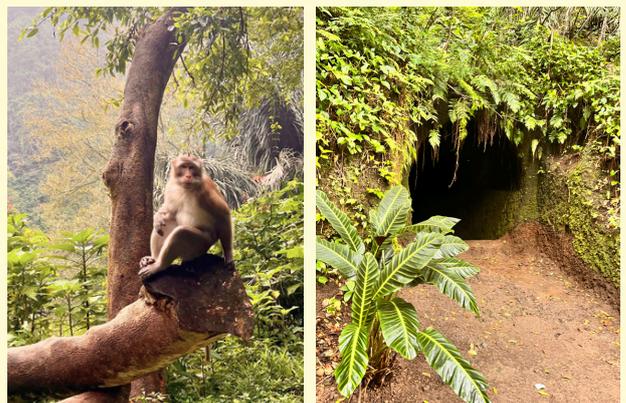
学びと暮らしの発見

私は現在、バンドン工科大学 (ITB) で学んでいます。ここはインドネシア初代大統領スカルノ (この方の第3夫人は、日本で有名なデヴィ夫人) の母校、理工系分野で国内トップレベルの大学です。学生たちは国の未来を真剣に考え、日々熱心に学んでいます。また、生活の中で驚かされるのは物価の安さです。Warungと呼ばれる屋台食堂では焼きそばや揚げ物、ナシゴレンなどの料理が100~200円ほどで楽しめます。香辛料の生産も盛んなインドネシアでは、サンバルと言われるスパイスが料理に欠かせません。新鮮な果物も安価で、マンゴーやパイナップルを日常的に味わえます。

インドネシアは、「多様性の中の調和」、そして人々の優しさを肌で感じることができ、ただ観光するだけでなく、「暮らしてみたい」と思わせてくれる不思議な魅力に溢れた国です。



(上)インドネシアの食事風景。床に食事を並べ、円になって団らんしながら食べるスタイルも一般的。食を通じたつながりが大切にされている。(筆者:左)



(左)バンドン郊外、ジュアンダ森林公園での散歩。大自然が楽しめるとともに猿にも遭遇できる。(右)バンドン郊外、ジュアンダ森林公園にて。第二次世界大戦中に日本軍が作った洞窟も見られる。全長350メートル、15の小部屋があり、兵士の寝室、武器庫、監視所として利用されていた。



(左)インドネシアを代表する料理、ナシゴレン(右)アヤムバカル(Ayam bakar) とサンバル、米

日本語教室ボランティア研修 第1回入門講座のお知らせ

日時

令和7年

7月13日(日)

13:30~16:30

(開場13:10)

会場 ウェスタ川越 2F 活動室1・2

アクセス 川越駅 西口より 徒歩5分



一部オンライン(Zoom)
視聴可能!

地域の「日本語教室」は外国人の方々が生活に必要な日本語を学びながら、人と人とのつながりを育む重要な場として注目されています。こうした活動を支えているのが、日本語ボランティアのみなさんです。特別な知識や経験がなくても大丈夫です。お気軽に入門講座にご参加ください！(参加費無料)

(主催：埼玉県 / (公財) 埼玉県国際交流協会 / 川越市)

お問合せ先

(公財) 埼玉県国際交流協会
TEL: 048-833-2992

詳細&お申込み

右記二次元コードから詳細
ページをご覧ください。



ホームステイボランティア ホストファミリーの募集

県内大学等に通う留学生や国際交流基金日本語国際センターの研修生等を対象に、一般的な日本の生活・文化を体験いただく機会として、1泊2日のホームステイや、日帰りのホームビジットを行っています。滞在中は簡単な日本語を使ってコミュニケーションをとることが多いです。ご家庭でのホームステイ受け入れに興味がある方は、ぜひお問い合わせください。

登録条件

- ① 埼玉県内に在住で、原則として家族が2人以上いる(単身世帯ではない)ご家庭(ただし、1人暮らしの方は、当日ご親戚やご友人などに宿泊してもらい、複数名による受入ができれば可能)
- ② 原則としてゲストに1部屋ご提供いただけるご家庭
- ③ ご家族全員でゲストを歓迎してくださるご家庭

お問合せ先

(公財) 埼玉県国際交流協会
TEL: 048-833-2992
Email: jigyo-01@sia1.jp



世界食べ物探検 フランスを探検しよう!



フランス菓子の話

フランスのお菓子は世界中で愛されており、日本でも「ミルフィーユ」や「マカロン」等は既にお馴染みの人気スイーツです。これらの洗練されたお菓子の始まりは中世の修道院でのお菓子作りにあったとされ、その後、宮廷や貴族階級の食文化の変遷の中で目覚ましい技術の発展が見られました。また砂糖や香辛料の普及、そして近代フランス菓子の礎を築いたアントナン・カレーム(1784~1833年)のような偉大なパティシエの登場もお菓子の歴史に大きな影響を与えました。レシピは書物にまとめられ、次の世代へと受け継がれていくようになりました。

フランス菓子の発展には、フランスと他国の王室間の婚姻も重要な役割を果たしました。外国からフランスに嫁いだ王妃たちと共に、母国のスイーツや製菓技術がフランスに持ち込まれ、徐々にフランス風にアレンジされて現在のフランス菓子へとつながったのです。たとえば砂糖菓子の技術やアイスクリーム、シュークリーム、マカロンなどは16世紀にイタリアから嫁いだカトリーヌ・ド・メディシスにより伝えられ、徐々にフランス風に改良されていきました。

さらにフランス革命も食文化に大きな変化をもたらしました。革命により王族・貴族が失脚、お抱えの菓子職人や料理人は職を失い、菓子店やレストランを街中に開店しました。それがパリでの近代的なレストランの誕生につながり、かつて上流階級だけが楽しんだ高級菓子や料理は、次第に一般の人々の手に届くものとなっていきました。

「クラフティ」とは?

フランスでは食事の締めくくりにデザートを楽しむ習慣があり、家庭でよくお菓子が作られます。「クラフティ」は特に一般的な家庭菓子のひとつであるので紹介したいと思います。フランス中部のリムーザン地方にて19世紀頃より親しまれてきた伝統的な家庭菓子で、本来はブラックエリールを用いた「リムーザン風クラフティ」として知られていますが、りんご、洋梨、あんず、いちごなどの季節のフルーツを用いて、一年じゅう楽しむことが出来ます。作り方は簡単で、特別な材料は使用しません。カスタードプリンのような味わいで、どこか懐かしさを感じさせます。



※「ボンジュール!」
フランス語で「こんにちは」

ガボリオ マリと申します。
フランス南西部の小さな町の出身ですが、長年埼玉に住んでいます。フランスのお菓子の歴史を簡単に説明し、伝統的な家庭菓子「クラフティ」(仏:clafoutis)の特徴とレシピを紹介します。「Bon appétit」(どうぞ召し上がれ!)



クラフティ・オ・ポム

クラフティ・オ・ポムのレシピ

(4~5人分: 600~700ml入る耐熱容器1つ)

材料

- ・リンゴ: 2個
- ・バター: 約30g (リンゴ用+型用)
- ・グラニュー糖: 50g+型用に大きじ1~2
- ・塩: ひとつまみ
- ・全卵: 3個
- ・薄力粉: 35g
- ・コーンスターチ: 15g
- ・バニラエッセンス: 少々
- ・牛乳: 200ml
- ・生クリーム: 100ml (牛乳でも可)
- ・粉砂糖: 適量



作り方

- ①皮をむいたリンゴを8等分に切り、バター20gで炒め、グラニュー糖ひとつまみを加えてキャラメル状にする。
- ②型に残りのバター10gを塗り、グラニュー糖大きじ1~2を全体に振り、①のリンゴを敷き詰める。
- ③ボウルにグラニュー糖、塩、卵を入れて混ぜ合わせたら、薄力粉とコーンスターチを合わせてふるい入れ、さらによく混ぜて滑らかにする。
- ④バニラエッセンスを加え、温めておいた牛乳と生クリームを少しずつ加え、均一になる迄よく混ぜ合わせる。
- ⑤型に④を濾しながら流し入れる。
- ⑥180度のオーブンで約35分焼き、粗熱が取れたら粉砂糖をふる。
※温かくても、冷してもOK



今年度もやります!



グローバル人材育成センター埼玉
Saitama Center for Go Global Students

からのお知らせ

外国人留学生とこどもの交流イベント



グローバル人材育成センター埼玉 (GGGS) では、県内の外国人留学生と子どもたちとの交流事業をコーディネートしています。

県内の大学などに在籍する外国人留学生がこども食堂などを訪問し、母国の文化を紹介して子どもたちと交流します。外国の文化を知って外国のあそびを一緒に楽しんで、子どもたちにも毎年好評のイベントです。

外国人留学生との交流イベントを行いたいこども食堂などから、日程や内容などのご希望を伺って、外国人留学生とのマッチングを行います。

子どもたちと交流したい外国人留学生の皆さん、そして県内のこども食堂などの「こどもの居場所」、学童保育や放課後子供教室などを運営している皆さん、ぜひお問い合わせください♪



お問合せ先

グローバル人材育成センター埼玉 (GGGS)
TEL: 048-833-2995

FREE
そうだん むりょう
相談無料

さいたまけん がいこくじん かた
埼玉県の外国人の方へ
そうだん まどぐち あんない
相談窓口のご案内



がいこくご そうだん
外国語で相談ができます。

せいかつ しごと ざいりゅうしかく ほりつ そうだん
生活、仕事、在留資格、法律などのなやみを相談できます。

がっこう びょういん はな でんわ つうやく
学校や病院で話すとき、電話で通訳をします。

English(英語)・Español(スペイン語)・中文(中国語)・Português(ポルトガル語)・
한국・조선어(韓国・朝鮮語)・Tagalog(タガログ語)・ภาษาไทย(タイ語)・Tiếng
việt(ベトナム語)・Bahasa Indonesia(インドネシア語)・नेपाली(ネパール語)・
Русский(ロシア語)・український(ウクライナ語)・やさしいにほんご

げつ び きん び
月曜日～金曜日 9:00～16:00 にやっています。

しゅくじつ と 12/29～1/3 は やすみです。

外国人総合相談センター埼玉 がいこくじん そうごうそうだんせんたー さいたま

TEL 048-833-3296 FAX 048-833-3600
Email sodan@sia1.jp

埼玉県警察

からのお知らせ

埼玉県の外国人の方へ Facebookのご案内

埼玉県警察本部では、外国人向け Facebook を開設しています。外国人のみなさんが安全に生活していただくための情報や日本の法律(ルール)などをやさしい日本語でお知らせしています。ぜひご覧ください。



お問合せ先

埼玉県警察本部
組織犯罪対策第二課 外国人安全対策係
〒330-8533
さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号
TEL: 048-832-0110

Check



<http://www.facebook.com/spsotainika>

JICA埼玉デスクからのお知らせ

「Kumsta ka? クムスタカ?」(ヴィサヤ語で「お元気ですか」)

季節はだんだん夏に近づいてきました! 私は、暑くなると食べたくなるのが、ハロハロです。みなさんも聞いたことがあるかもしれませんが、ハロハロは「混ぜこぜ」という意味で、フィリピンの代表的スイーツです。とても冷たくて甘くて「Lami! ラミ!」(ヴィサヤ語で「おいしい」)です。

JICA東京 埼玉デスクの高橋から、報告とお知らせがあります。

報告

JICA海外協力隊2024年度3次隊9名と2024年度に任地から帰国した隊員7名が4月10日に埼玉県の大野知事へ派遣前&帰国後表敬訪問を行いました。JICA海外協力隊は開発途上で現地の人々と共に生活し、同じ目線で現地の課題解決に貢献する活動を行っています。



(写真)JICA海外協力隊の派遣前&帰国後表敬訪問

お知らせ

JICA東京では世界の国々や国際協力に関する様々な教材の提供や出前講座を実施しています。現地と日本をつなぐオンライン出前講座など、ご関心がありましたらホームページまたはJICA埼玉デスクにお声がけください。



JICA東京 HP



埼玉デスク Facebook

活動の様子は、JICA東京ホームページやJICA埼玉デスクFacebookをご覧ください▶



公式SNS
更新中!



Facebook



X(旧Twitter)



LINE

年に4回発行のFriendship Newsではお伝えしきれない協会の最新情報は、協会のHPとSNSで随時更新しています。ぜひご覧ください。

フォロー・リポスト・シェア・いいね
お願いします!

パスポート・マイナンバーカード・就活などの各種証明写真はクイックフォトスタジオで!

大宮・川越・川口・春日部 県内4か所 パスポートセンター隣接



5年・10年長く使うものだからこそ、専属スタッフによる信頼・安心の写真撮影!

詳細は二次元コードからご覧ください。



キャッシュレス決済のご案内

現金の他、クレジットカード、電子マネー、交通系電子マネー、コード決済に対応しています。

クイックフォトスタジオにパンフレットを置きませんか?

海外へ渡航するお客様に役立つ情報を提供するためにパンフレット棚を設置しています。利用の詳細については、協会までお問い合わせください。

賛助会員(個人・団体)募集のご案内

公益財団法人埼玉県国際交流協会では、協会の活動にご理解、ご協力をいただくため、賛助会員制度を設けています。趣旨にご賛同いただける方は、ぜひ、ご加入ください。

個人会員

埼玉県内在住・在勤の個人 (年会費 2,000円 (一口))

学生会員

埼玉県内在住・在学の学生・生徒 (年会費 500円 (一口))

団体会員

埼玉県内に所在する企業・団体 (年会費 10,000円 (一口))
NGO会員は年会費 3,000円 (一口)

会員特典

1. 協会広報紙「フレンドシップニュース」の定期購読 (郵送)
2. 協会主催事業のご案内
3. 国際交流プラザ研修講座室の利用
4. 協会が運営するクイックフォトスタジオ(大宮・川越・川口・春日部)における各種証明写真撮影料金の割引
5. パレスホテル大宮、浦和椿山荘でのお食事や埼玉県物産観光館「そびあ」でのお買い物の割引、その他指定店での海外旅行用品、国内外旅行企画商品、ホテル利用料金などの割引

申込方法

電話または電子メールで協会までご連絡ください。申込に必要な資料をお送りします。

広告掲載について

このフレンドシップニュースは、令和6年度は年4回・各回3,500部を発行しました。県内NGOやボランティア団体、企業様その他、県内自治体・大学・図書館・全国の地域国際化協会など、国際交流・多文化共生に関心のある幅広い層にお届けしています。

ぜひフレンドシップニュースへの広告掲載をご検討ください。ご関心のある団体・企業様は、協会までお気軽にお問い合わせください。

フレンドシップニュース 2025年度 夏号 (2025年6月発行)

公益財団法人 埼玉県国際交流協会 Saitama International Association

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

☎TEL : 048-833-2992 / FAX : 048-833-3291 / ✉Eメール : sia@sia1.jp

WEB : <https://sia1.jp/> 本誌バックナンバーはこちらから➡

<https://sia1.jp/t-pu-f/>



コバトン
さいたまっちゃん